

可動間仕切り①

商品特長

商品一覧

- 室内ドア
- 室内引戸
- 可動間仕切り
- クローゼットドア
- 玄関収納
- 造作材 (DS窓枠)
- 造作材 (定尺材)
- 腰壁
- 収納
- 手すり

規格表

- 室内ドア
- 室内引戸
- 可動間仕切り
- クローゼットドア
- 玄関収納
- 造作材 (DS窓枠)
- 造作材 (定尺材)
- 腰壁
- 収納
- 手すり
- 有償部品

特注対応品

ガラス寸法

基本寸法

組立施工説明
お手入れ方法

発注書

用語解説

索引

■施工される方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。
- ▲注意…取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

■施工上のお願い

- 枠を取付ける際は、水準器・下げ振り等で水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける際は、必ず接着剤を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤を塗布してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 必ず指定のねじ(同梱)で組立て・施工してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみ等の原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用してください。湿潤材は使用しないでください。壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠組立て後は、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ず隙間をつくり、かい木を入れてください。かい木には合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。造作材・建具枠をコ

▲注意

- 上ローラー取付けねじの締め忘れ・ゆるみ等は、扉脱落の原因になりますので、ガタツキのないよう固定してください。
- 扉に寄りかからないでください。無理な力が加わると、扉が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。

ンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。

- 本製品は上吊り方式のため、梁またはまぐさで重量を受けます。必ず扉重量に耐える断面寸法の梁またはまぐさをご使用ください。
- ジョイントレールを取付ける際は、ジョイント部に段差が出ないように注意してください。上ローラー破損の原因になります。
- ガイドピボットは、必ず樹脂部に当て木をして押し込んでください。ガイドピボットの破損・変形により、開閉に支障がでるおそれがあります。
- ストッパーは簡易固定用です。ぶつかったりすると、扉が開く事があります。
- 下レールは、補強材が入っていることを確認してから取付けてください。

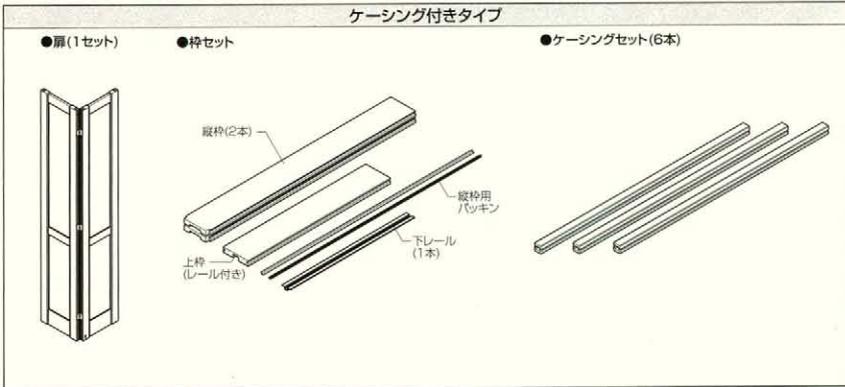
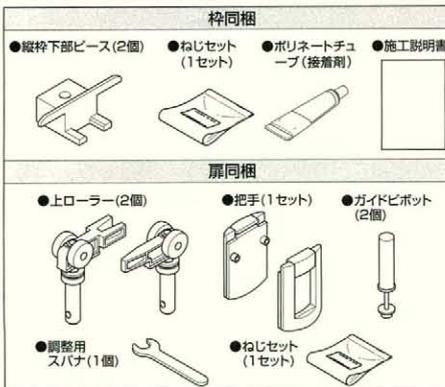
間口	扉重量	梁・まぐさの断面寸法(幅×高さ)
6尺	50kg	105mm×180mm以上
9尺	75kg	105mm×300mm以上
12尺	100kg	105mm×360mm以上

■部品一覧表

※上ローラー取付けねじは、扉同梱のねじセットに入っています。

■各部名称

※扉・枠セット・ケーシングセットは別梱包です。

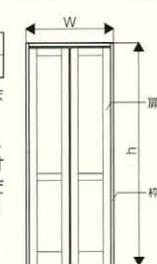


■製品寸法表

●開口寸法表(単位:mm)

開口H寸法	h+5
開口W寸法	w+10

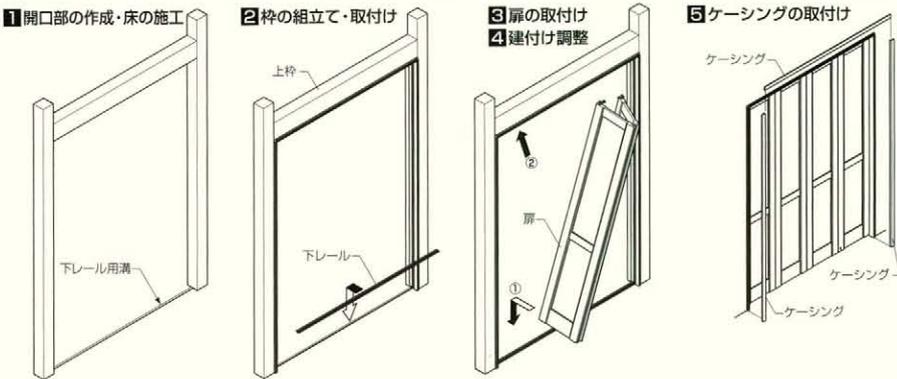
※開口H寸法は、床上面から梁(まぐさ)までの寸法を示す。
※本製品は上吊り方式のため、必ず扉重量に耐える断面寸法の梁(まぐさ)をご使用ください。(施工上のお願い参照)



●製品寸法表(単位:mm)

呼称	h	w
1623	2318	1665
2423	2318	2480
3323	2318	3295

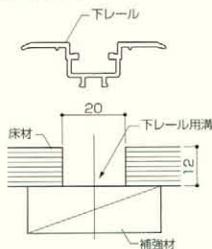
■取付け手順



■取付け詳細

1 開口部の作成・床の施工

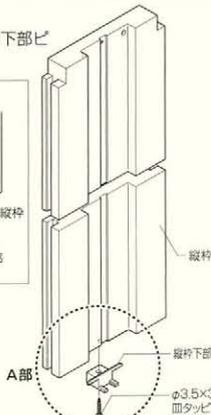
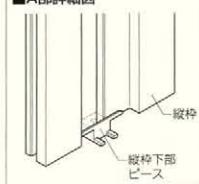
- ① 製品寸法表から開口寸法を算出し、開口部を作成します。
- ② 下レール用溝の加工位置を決めます。※補強材が入っていることを確認してください。
- ③ 床を施工します。



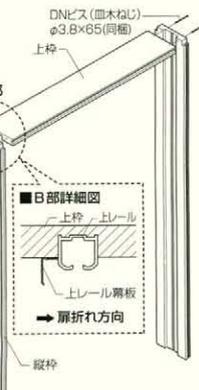
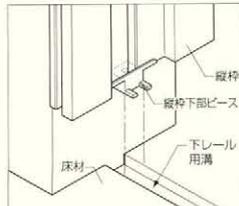
2 枠の組立て・取付け

- ① 縦枠の下部に、縦枠下部ピースを取付けます。

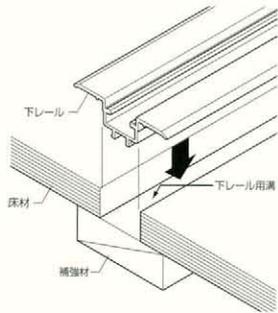
■A部詳細図



- ② 上枠と縦枠を、組立てねじDNEビス(皿木ねじ)φ3.8×65で組立てます。※上枠は、左右兼用で取付けられますが、扉折れ方向は上レール幕板の向きによって決まります。
- ③ 枠を開口部に入れ、縦枠下部ピースを床の下レール用溝にはめ込んで位置出しします。

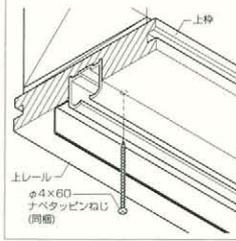


- ④ 枠を仮止めします。
 ⑤ 下レールを下レール用溝に差込み、枠下部のW寸法を確認します。
 ※この時下レールは固定しないでください。
 ⑥ 枠を固定し、上・中・下部のW寸法をチェックします。



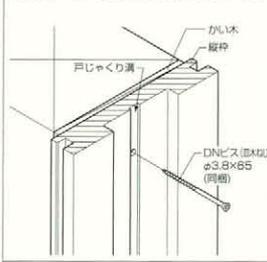
●上枠の固定

上レールの穴から躯体にねじ止めします。

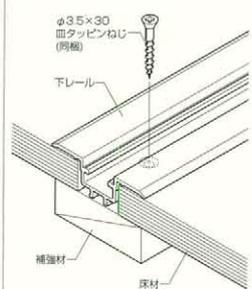


●縦枠の固定

縦枠の戸じゃくり溝からねじ止めします。

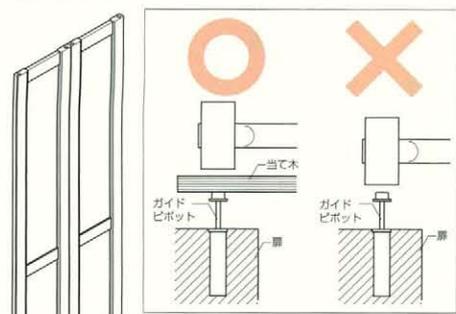


- ⑦ 下レールをねじ止めします。

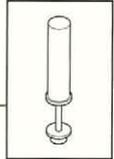


③ 扉の取付け

- ① ガイドピボットの樹脂部に当て木をし、扉下部の加工穴にたまたま込みます。



●ガイドピボット

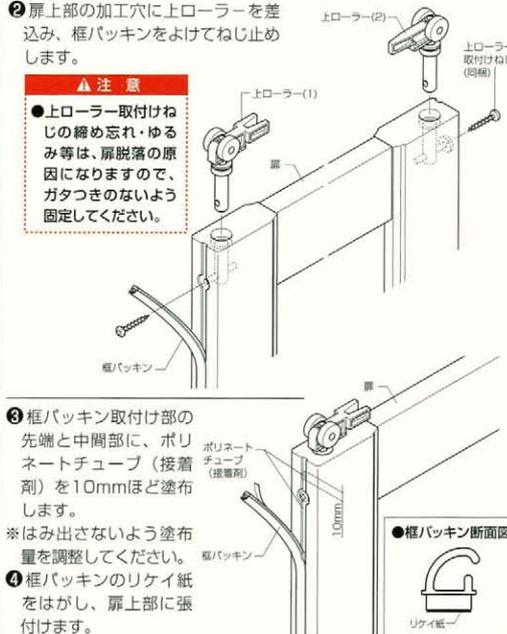


- ② 扉上部の加工穴に上ローラーを差込み、枠パッキンをよけてねじ止めします。

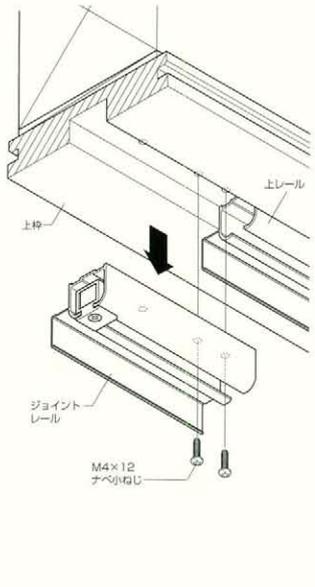
▲注意
 ●上ローラー取付けねじの締め忘れ・ゆるみ等は、扉脱落の原因になりますので、ガタつきのないよう固定してください。

- ④ 枠パッキン取付け部の先端と中間部に、ポリネートチューブ（接着剤）を10mmほど塗布します。
 ※はみ出さないよう塗布量を調整してください。

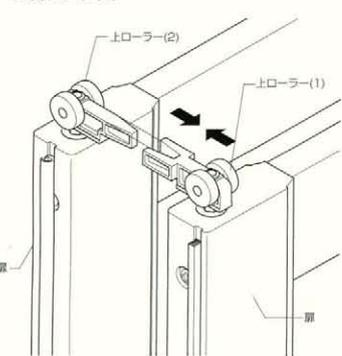
- ④ 枠パッキンのリケイ紙をはがし、扉上部に張付けます。



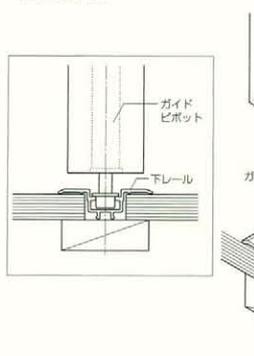
- ④ ナベ小ねじを外し、上枠のジョイントレールを外します。



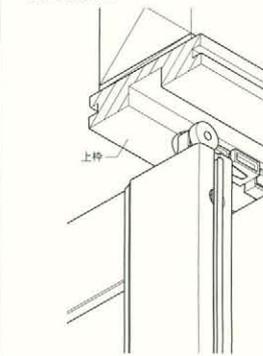
- ⑤ 扉を折りたたみ、左右の上ローラー同士を組み合わせます。



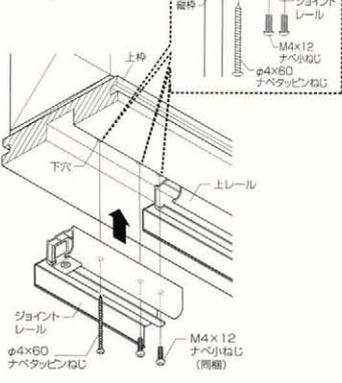
- ⑥ ガイドピボットを、下レールに差込みます。



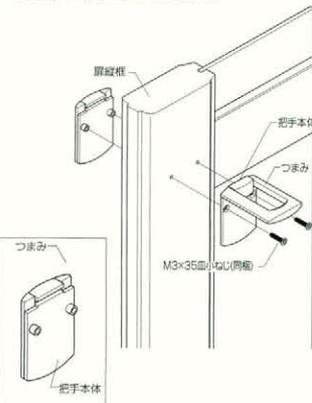
- ⑦ 上レール端から、上ローラーを差込みます。



- ⑧ ジョイント部に段差が出ないように、ジョイントレールを取付けます。

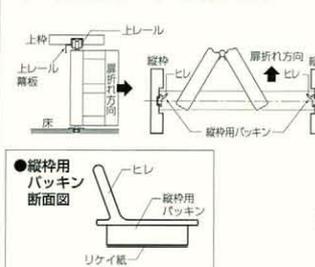


- ⑨ 扉縦枠の穴に把手をねじ止めします。
 ※つまみが把手本体から外れている場合は、裏面から差込んでください。



- ⑩ 戸じゃくり溝の上部・中間部（500mm）（接着力が著しく低下しますので、張付け直さないでください。）に、ポリネートチューブ（接着剤）を10mmほど塗布します。
 ※はみ出さないよう塗布量を調整してください。

- ① 縦枠用パッキンのリケイ紙をはがします。
 ② 下図に従い、扉の折れる方向にヒレを向けて縦枠用パッキンを張付けます。



（接着力が著しく低下しますので、張付け直さないでください。）
 ※逆にすると扉の開閉に支障がでるため、必ず正しい向きにしてください。
 ※ポリネートチューブ（接着剤）塗布部分は、接着材が乾くまで、テープ等で仮止めてください。

商品特長
商品一覧

室内ドア
室内引戸
可動間仕切り
クローゼットドア
玄関収納
造作材 (DS窓枠)
造作材 (定尺材)
腰壁
収納
手すり

規格表

室内ドア
室内引戸
可動間仕切り
クローゼットドア
玄関収納
造作材 (DS窓枠)
造作材 (定尺材)
腰壁
収納
手すり
有償部品

特注対応品

ガラス寸法

基本寸法
納まり図

組立施工説明
お手入れ方法

発注書

用語解説
索引

可動間仕切り②

商品特長
商品一覧

- 室内ドア
- 室内引戸
- 可動間仕切り
- クローゼットドア
- 玄関収納
- 造作材 (DS窓枠)
- 造作材 (定尺材)
- 腰壁
- 収納
- 手すり

規格表

- 室内ドア
- 室内引戸
- 可動間仕切り
- クローゼットドア
- 玄関収納
- 造作材 (DS窓枠)
- 造作材 (定尺材)
- 腰壁
- 収納
- 手すり
- 有償部品

特注対応品

ガラス寸法

基本寸法
納まり図

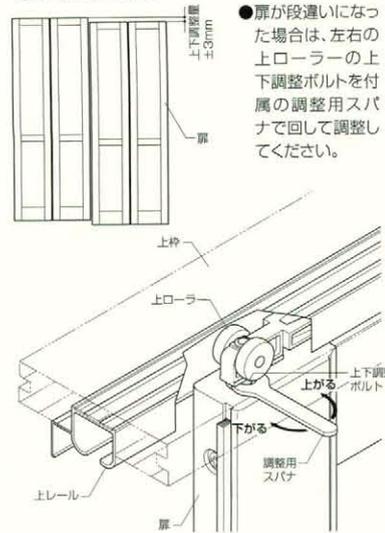
組立施工説明
お手入れ方法

発注書

用語解説
索引

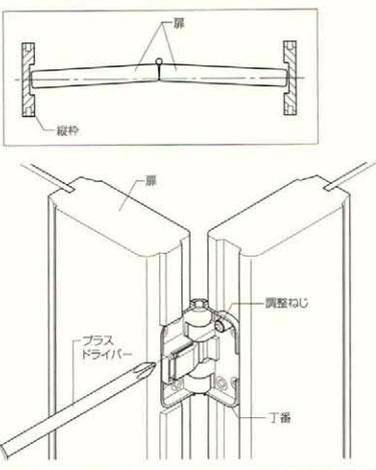
4 建付け調整

＜上下方向の調整＞



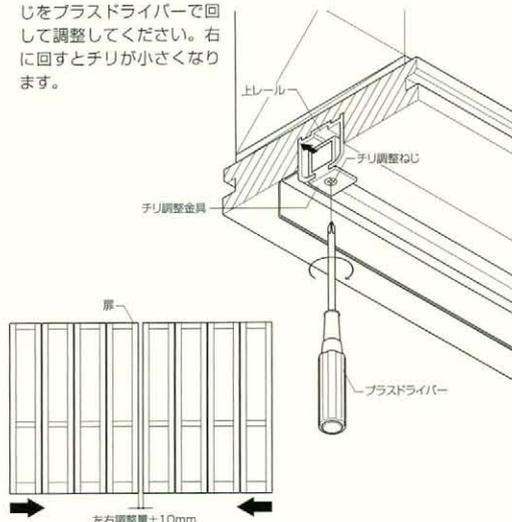
＜扉の閉じ状態の調整＞

●扉が下図のような場合は、丁番の調整ねじを回して調整してください。扉がフラットになります。



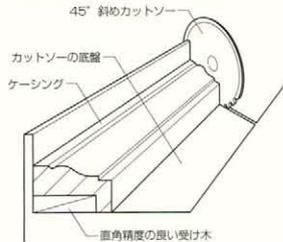
＜左右方向の調整＞

●扉間のチリが大きい場合は、上レール両端のチリ調整ねじをプラスドライバーで回して調整してください。右に回すとチリが小さくなります。

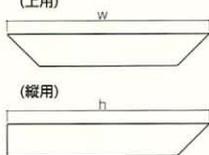


5 ケーシングの取付け

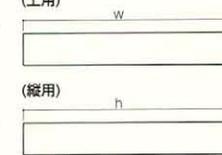
- ① ケーシングを現場寸法に合わせて切断します。(右表参照)
〔装飾ケーシングの場合〕…上枠と縦枠の接合部は、留め切ります。
〔L型ケーシングの場合〕…上枠と縦枠の接合部は、縦通しにします。
※留め切りは、直角精度の良い受け木をケーシングの裏に入れ、45°斜めカッターで切断すると精度がです。
- ② 枠のケーシング溝へケーシングを差込みます。
- ③ ケーシングを木工用ボンドで枠に固定します。
※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。



●装飾ケーシング (上用)



●L型ケーシング (上用)



●装飾ケーシング (単位: mm)

呼称	h
H23	2338

呼称	w
W16	1711
W24	2526
W33	3341

●L型ケーシング (見付け36mm) (単位: mm)

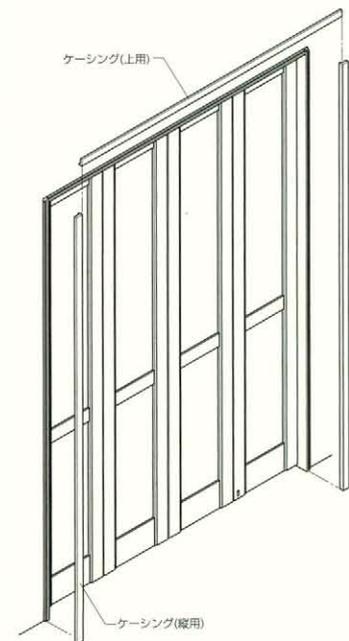
呼称	h
H23	2338

呼称	w
W16	1638
W24	2453
W33	3268

●L型ケーシング (見付け24mm) (単位: mm)

呼称	h
H23	2326

呼称	w
W16	1638
W24	2453
W33	3268

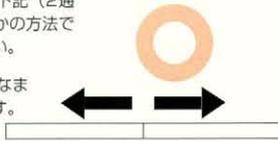


■扉の操作について

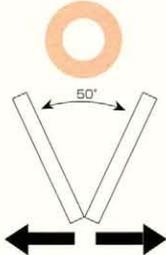
1 扉の開閉方法

※扉の開閉は、下記（2通り）のいずれかの方法で行ってください。

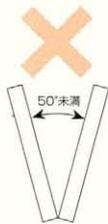
●扉をフラットなまま移動させます。



●50°の角度で扉が一時固定するようになっていきますのでこの状態で移動させます。



※角度50°未満の状態では、移動させないでください。動きがギクシャクしたり、ガイドピボットの走行に支障がでたりします。



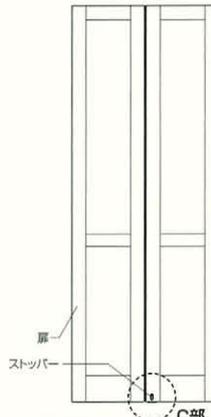
2 ストッパーの使用法

●つまみを下げるとロックがかかり、扉があかなくなります。

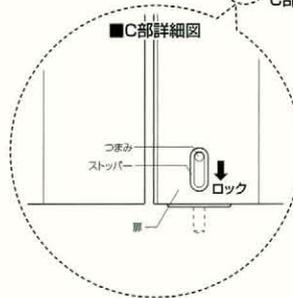
▲注意

●扉に寄りかからないでください。無理な力が加わると、扉が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。

※ストッパーは簡易固定用です。ぶつかったりすると扉が開くことがあります。



■C部詳細図



商品特長
商品一覧

室内ドア

室内引戸

可動
間仕切り

クローゼット
ドア

玄関収納

造作材
(DS窓枠)

造作材
(定尺材)

腰壁

収納

手すり

規格表

室内ドア

室内引戸

可動
間仕切り

クローゼット
ドア

玄関収納

造作材
(DS窓枠)

造作材
(定尺材)

腰壁

収納

手すり

有償部品

特注対応品

ガラス寸法

基本寸法
納まり図

組立施工説明
お手入れ方法

発注書

用語解説
索引